



「路地」1996年

黄土に馳せた想い

日本画家

竹原城文展

2026
3.4_{WED}
▽
4.19_{SUN}

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

開館時間：午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日

観覧料：高校生以上 310円(団体 250円)

小中学生 150円(団体 90円) ※()内は20人以上の団体料金

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、

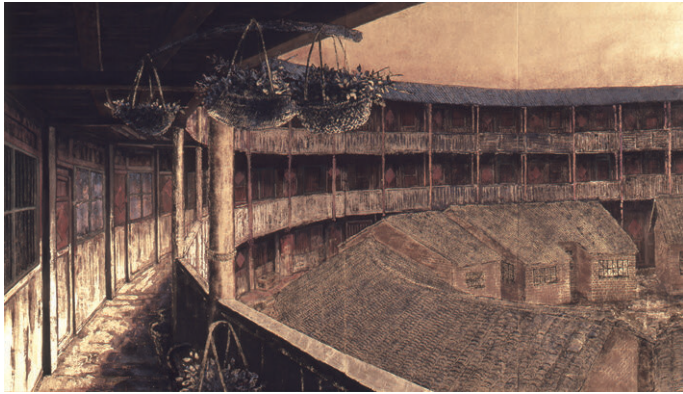
小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方とその介護者1人様は無料。

※岐阜市内在住の70歳以上の方は、証明書などを提示すると無料。ミライロID可

※岐阜市内の小中学生の方は無料。

※家庭の日【3月15日、4月19日】に入館する中学生以下の方と、同伴する家族(高校生以上)の方は無料。

黄土に馳せた想い 日本画家 竹原城文 展



「回廊」1997年



「風水の郷」1995年



「水路」1999年

このたび、日本画公募団体創画会で活躍中の竹原城文の画業を顕彰する展覧会を開催します。

竹原城文は戦後復興期の1948年(昭和23)、愛知県名古屋市に生まれました。日本経済が安定に向かう中、旭丘高等学校美術科から開学したばかりの愛知県立芸術大学美術学部絵画科日本画専攻1期生として、片岡球子、守屋多々志から日本画の手ほどきを受けます。在学中は瀬戸の採掘場に魅せられ、幾度となく取材に訪れては土から感じる温かさやエネルギーを全身で感じ取りながら制作を続けていました。卒業後は革新的な日本画が会場に並ぶ公募団体創画会を活躍の場を選び、土からヒントを得た題材で精力的に大作を発表していきます。

1987年(昭和62)文化庁派遣芸術家在外研修員として訪れた中国黄土高原での出逢いが作家としての方向性を決め、帰国後、文明から離れた黄土の地を題材にした作品を次々と発表していきます。

2002年(平成14)、その功績が認められ愛知芸術選奨文化賞を受賞します。

また、制作の傍ら東海女子大学、大阪芸術大学で教鞭を取り後進の育成に尽力してきました。

本展では、創画会出品作を中心に20点ほどの作品を紹介します。土と人間との関係に重きを置き、プリミティブな思考で制作を続けた日本画家、竹原城文の作品を通して、その生き方、考え方を追想してください。



「送る」2003年



「舟宿」2005年

ごあいさつ

若い頃から美濃地方の焼き物の土に惹かれて作品を制作してきました。そんな折、中国黄土高原の雄大さに惹かれていくのを実感しました。黄土高原に一人降り立った時のことは、今でも鮮明に心の奥深く刻まれています。見渡す限りの大地、土と水とそしてそこに生きる家族のそのおおかさに出逢いおおいに感銘を受けました。自分の作品のテーマを見つけた気がしました。制作において大切にしてきた心象風景の原型がそこにあった気がしました。

今回の個展では文化庁芸術家在外派遣員に選出された1987年から1988年の一年間に中華人民共和国での芸術研修をきっかけに、中国大陸での経験をもとに制作した作品を中心に展示します。展覧会の開催にあたり関係者の皆様には多大なるご配慮を賜り心より感謝申し上げます。

竹原城文

略歴

- 1972年(昭和47) 愛知県立芸術大学美術研究科 絵画専攻(日本画)修了
- 1976年(昭和51) 東海女子短期大学講師(1981助教授、1991教授に着任)
- 1985年(昭和60) 第12回創画会創画会賞(以後、1989、1991、1994同賞受賞)
- 1987年(昭和62) 文化庁派遣芸術家在外研修員として中国を訪問
中央美術学院訪問学者として1年間在籍
- 2002年(平成14) 愛知芸術選奨文化賞受賞
- 2006年(平成18) 大阪芸術大学教授(～2018)
- 2018年(平成30) 中国美術学院、四川大学、華北大学、蘭州大学にて講座を開催
現在、創画会正会員 グループ展、個展多数

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

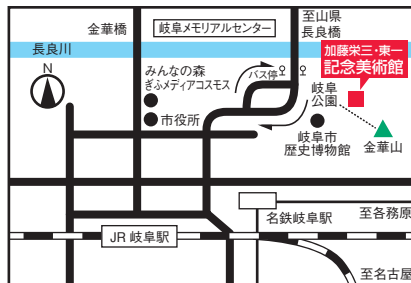
〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

交通案内
JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、
長良橋方面行きのバスにご乗車ください。
「岐阜公園・岐阜城」で下車(所要時間約18分)
徒歩約5分(岐阜公園内・ロプウェー山麓駅横)

駐車場
岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。
駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関
をご利用ください。



ホームページ



貴方も友の会会員になってみませんか！

岐阜市歴史博物館 加藤栄三・東一記念美術館 友の会 会員募集

—文化の時代 心に潤いと豊かさ—

特典

- 会報の配布、各種催しものの案内が受けられます。
- 展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- 会員が同伴する観覧者は団体割引料金になります。